

外来の指標



[糖尿病の患者の血糖コントロール](#)



[食物経口負荷試験実施件数](#)



[救急車受け入れ割合](#)



[無料・低額診療申請件数](#)



[外来患者満足度](#)



外来通院患者の糖尿病コントロール

<糖尿病とHbA1c>

ヘモグロビンとは、血液の赤血球に含まれているタンパク質の一種で、酸素と結合して酸素を全身に送る役目を果たしています。このヘモグロビンは、血液中のブドウ糖と結合し、ヘモグロビン(Hb)A1c となる性質を持っています。血液検査の結果、このHbA1cの値が高ければ高いほどたくさんのブドウ糖が余分に血液中にあるために、ヘモグロビンと結合してしまったとことがわかります。正常な成人のHbA1c値は6.5%以下。一方、それ以上の数値ですと、高血糖状態が続いていた、ということになります。この数値が、8.4%を超えた状態が長く続きますと、色々な合併症を起こすと言われてています。



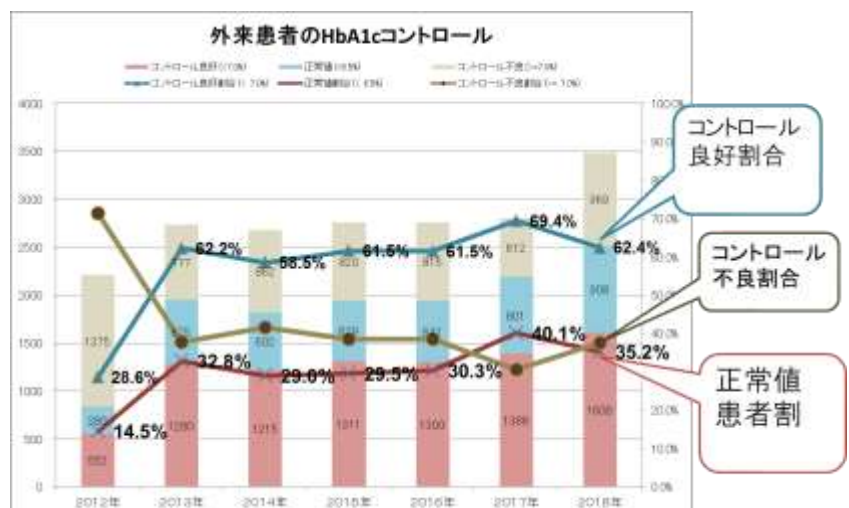
<当院の取り組み>

糖尿病患者の病状を安定させるには、適切な食事療法や運動療法の指導および薬物療法の実施が必要です。当院では患者の血液検査のデータから異常値を抽出、糖尿病治療薬使用患者の抽出により、指導が必要な患者をリストアップし、個別の栄養指導や集団糖尿病教室の定期的開催、糖尿病患者会の運営等、積極的な指導の実施に取り組んでいます。

<指標と結果>

本指標では、外来患者の中のA)HbA1c<7.0%：コントロールが良好な患者の割合 と、B)HbA1c<6.5%：正常値の患者の割合をみることで、診療の質を評価しています。

2018年は昨年大きく上昇した「コントロールが良好な患者の割合」「正常値の患者の割合」共に減少し、2年前と同水準になりました。 [外来TOPに戻る](#)





食物アレルギー検査実施件数



食物アレルギーは子どもに多くみられるのが特徴で、6歳以下の乳幼児が患者数の80%近くを占め、1歳に満たないお子さんでは10~20人にひとりが発症しています。

子どもに食物アレルギーが多いのは、成長段階で消化機能が未熟で、アレルゲンであるタンパク質を小さく分解（消化）することができないのがひとつの要因と考えられています。そのため、成長とともに消化吸収機能が発達してくると、原因食物に対して耐性（食べられるようになること）がつかう可能性が高いのです。しかし、中には大人になっても症状が続くものもあり、幼児期後半以降（成人も含む）に発症した食物アレルギーは治りにくいとされています。

アレルギー症状では、最も多いのが皮膚症状（じんましん、痒い、皮膚が赤くなる、顔が腫れるなど）です。呼吸器症状（咳、ゼイゼイする、呼吸困難）、粘膜症状（口が腫れる、目が赤くなる腫れるなど）、消化器症状（腹痛、吐く、むかむかする、下痢）などの症状も同時または別々に出現します。重症では血圧が下がって意識がなくなる、ぐったりなるアナフィラキシーショックを呈することもあります。



みどり病院小児科ではアレルギー外来を行い、日帰り入院の食物経口負荷試験も行っております。食物経口負荷試験は、食物アレルギーの正確な診断や、除去してきた食品が食べられるようになったかどうか（耐性獲得）の確認のための検査です。

2018年は、2017年よりは減少しましたが、直近4年間で比較して平均的な件数となりました。



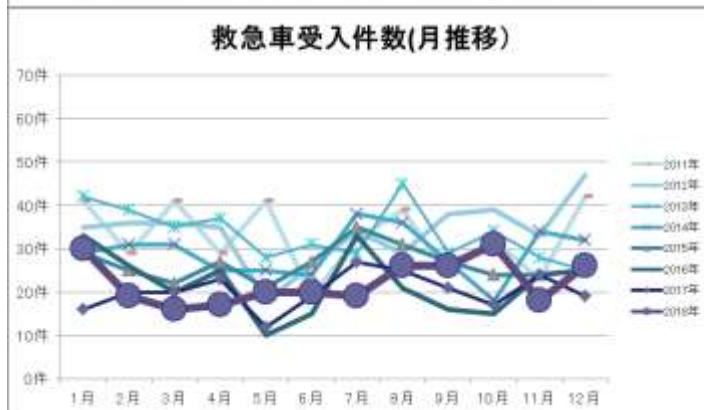
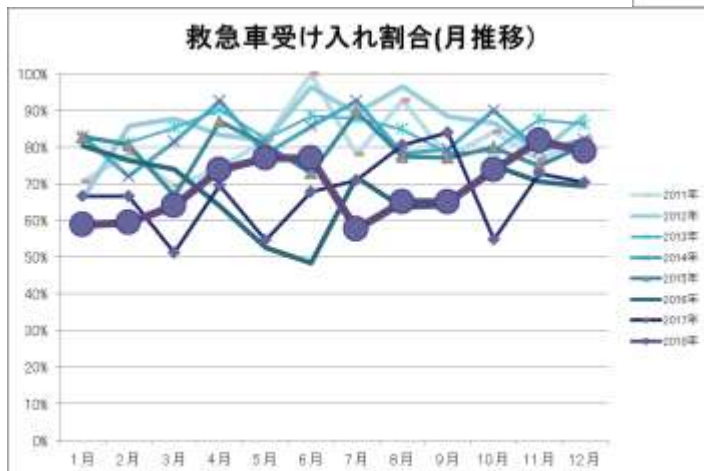
[外来 TOP に戻る](#)





2014年10月の回復期リハ病棟開設以降、一般急性期病棟半減により受入可能な病床数が大幅に減少しましたが、「地域からの要請を断らない」を合い言葉に積極的受入に取り組んできました。しかし満床や個室部屋満室の為、断ざるえない場合があります。

本年は2015年以降から2017年にかけて、減少し続けていた受入割合が並行推移に変



わりました。

月の受け入れ割合推移をみると、2015年以降、病棟の満床状況によって救急車受け入れ割合が月によって乱高下しており、本年も1～3月、7～9月が低下しました。

ただし、受入件数でみると乱高下していた件数が一定件数に落ち着きつつあり、受入割合の変化は、近隣病院との関係や救急車利用者件数の増減によって変化している可能性があります。

受け入れ態勢の強化の為当院では、院内の全職員がリアルタイムに病棟内救急受け入れ病床数を把握できるように、電子カルテ TOP 画面に表示し、変更時には毎回全職員に通知しています。

更に毎週のベッドコントロール会議の開催、退院困難事例検討会の実施。病棟看護師による毎日昼カンファレンスでの介入必要患者の

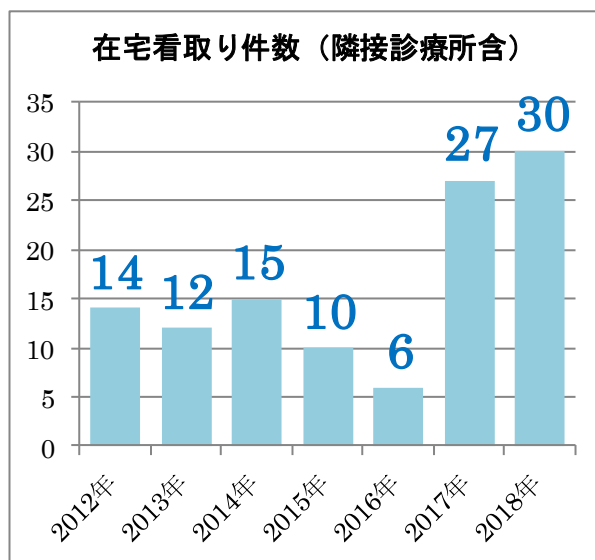
抽出による入院早期退院調整、カンファレンスの早期実施等の対策を行っています。

地域の救急要請に答える為に、今後も取組を進めていきます。

救急受入割合や要請件数が減少しているもう一つの要因として、在宅の抱え患者に対して、在宅医療チームでの対応が充実した事により、当法人内在宅管理患者の救急依存度が低下している可能性があります。

当法人在宅管理患者の在宅看取り件数推移をみると、2017年以降の件数が大幅に増加し、2018年は更に増加していました。在宅で終末期を迎える体制が強化されている事が考えられます。

[外来 TOP に戻る](#)





無料低額診療申請件数

当院では2009年6月から「無料低額診療事業」を開始しました。「お金のあるなしで医療が差別されてはいけない」という信念のもとで、差額ベッド料を徴収せず、困難を抱えた人たちの「最後のよりどころ」として医療や介護に関する相談活動をすすめています。

[*無料低額診療事業の詳細はこちら](#)

国民の経済格差が社会問題となる中、年金額の減少、雇用問題、社会保障の自己負担増等により、市民の暮らしはいっそう深刻になってきています。その結果、医療費の支払い困難な為に治療中断、保険料が支払えなくて保険証が発行されず、手遅れになる患者さんが増えてきており、命や健康を守る私たちにとっては心が痛みます。

当院では「よろず相談室」を院内に設置し、無料低額診療以外にも様々な患者様のご相談にソーシャルワーカーが対応しております。医療費に関するご相談や、福祉助成制度に関するご相談、その他各種ご相談は、お気軽にご連絡ください。

前述の無料低額診療と無保険に関する相談は、2017年に減少しましたが、2018年微増となりました。無料低額診療適用件数も14件⇒21件に増加しております。

今後も社会動向・相談動向を注視しながら、患者様へ適切な社会資源の活用を支援できるよう努めて参ります。



[外来 TOP に戻る](#)



外来患者満足度

アンケートは「治療の結果」「職員の接遇」「院内設備」など複数の項目で実施いたしました。

患者満足度調査

分子	内、「満足」「やや満足」と回答した割合
分母	患者アンケート有効回答数

表示：年間合計

各項目に対し 5 段階評価を行って頂き、「5：満足している」「4：やや満足している」の合計の割合を満足度として算出しています。2018 年は、全体評価として 2017 年から 83%⇒78%に減少しました。

項目別にみると、以下の項目で大きく評価が下がっています。

＜項目別評価：5点満点中＞

医師の診断治療：4.08⇒3.99 (-0.09)

処置待ち時間：3.78⇒3.71 (-0.07)

一方で以下の項目では評価が微増しました。

＜項目別評価：5点満点中＞

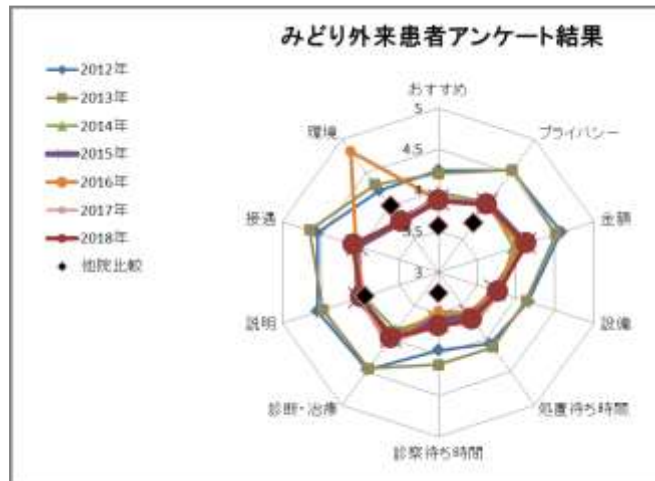
金額の内訳：4.1⇒4.13 (+0.03)

診察待ち時間：3.65⇒3.66 (+0.01)

項目比較では、設備、環境、待ち時間がやや低い評価となっており、接遇、プライバシー、金額内訳でやや高い評価となっておりました。

設備、環境は病院の築年数が大きく影響していることが考えられますが、清掃、設備導入・改装を通して、継続的に改善を進めていきます。待ち時間については、他院平均との比較では、診察待ち時間 (+0.40) となっており、他院と比較しても低い満足率ではありませんが、今後も診療待ち時間の短縮の為、「定期通院患者へ隣接する診療所での予約診療の案内」「定期通院患者へ専門予約外来への案内」等を行い、一般診療枠での定期患者と救急患者の混在を避ける事で診療待ち時間の短縮に取り組んでいきます。

今後とも患者様の声を真摯に受け止め、改善に取り組んでいきます。



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	他院比較	昨年差	他院平均差
おすすめ	4.24	4.2	3.97	3.88	3.88	3.92	3.87	3.56	-0.05	0.31
プライバシー	4.53	4.54	4.05	4.03	4.03	4.05	4.02	3.74	-0.03	0.28
金額	4.58	4.51	3.97	4.12	4.04	4.1	4.13		0.03	4.13
設備	4.16	4.13	3.77	3.73	3.74	3.79	3.77		-0.02	3.77
処置待ち時間	4.08	4.13	3.63	3.66	3.61	3.78	3.71		-0.07	3.71
診察待ち時間	3.95	4.13	3.54	3.6	3.48	3.65	3.66	3.26	0.01	0.40
診断・治療	4.47	4.45	3.88	3.98	4.06	4.08	3.99		-0.09	3.99
説明	4.55	4.48	3.96	4.02	3.96	4.01	3.99	3.94	-0.02	0.05
接遇	4.55	4.65	4.07	4.04	4.06	4.11	4.09		-0.02	4.09
環境	4.23	4.32	3.73	3.77	4.82	3.78	3.76	3.99	-0.02	-0.23
平均	4.33	4.35	3.86	3.88	3.97	3.93	3.90	3.70	-0.04	0.27

[外来 TOP に戻る](#)